

2021年4月22日

## 2020年度「多摩地域市民活動公募助成」助成事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人 環境再生機構

代表者・役職名 氏名 理事長 日並 洋一

### ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

### 1. 助成プロジェクト名

みみずコンポストを利用した、災害時利用可能トイレの実験・研究・啓発活動

### 2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

地球温暖化が、人類はじめとする生物界全体に深刻な問題をもたらすことを危惧し、温暖化効果ガスの削減や環境問題の重要性を啓発しなければならない思いから設立。地球温暖化防止及び循環型社会の形成を目指して活動しています。

### 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

東日本大震災や昨今起きている地球温暖化現象による災害時に、インフラの損壊により水洗トイレが使えない事象が頻発しています。これを解消するために、電気も水も使わないトイレの研究開発を目指し活動しています。

### 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

みみずコンポスト・トイレは、多摩産間伐材を使用して森林活性化を図ることによる温暖化防止と持続可能な開発目標を目指した国連のSDGs対応事業である13の気候変動の具体的な対策として、シマミズの有機物処理能力を活用し、糞便を堆肥化=リサイクルすることで処理費用を削減し温暖化防止に貢献すると共に、循環型社会の形成を図ります。また、電気・水等を使用しないため、災害時の緊急用災害トイレとして利用できるのでは、と考えています。

### 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの「効果」 300文字程度まで

市民畑に設置することにより、子供たちの緊急用トイレとしての期待が高まり、早く完成しないか皆が待ちわびている現状があります。水道・電気を使わない公衆トイレの開設に環境問題に敏感な市民の思いが募り興味をもって工事の進捗を見守ってくれています。コロナ禍の為犬の糞を使用して実験中で、使用できるのはコロナ禍が収まってからになると思います。

### 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

コロナ禍のため、人糞使用実験は感染拡大防止の観点から中止せざる得なかった。そのため、自宅飼い犬の糞を利用して実験を開始しているが、まだ結果は出ていない。コロナ禍が収まれば精力的に人糞実験を行いたいと思います。他地域での使用例はインターネットで確認済みですが、本助成事業でのコンポストトイレは会員・学生が制作したので商品化への工務店等との協議・打ち合わせが必要です。

### 7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

## 成果物写真

